



姫路科学館友の会
Since 1993

あとむ

姫路科学館友の会会報 第199号〈2025年11月〉(友の会事務局発行)

友の会 お知らせ

クリスマス講演会「冬至に太陽の復活を祈るクリスマス」ご案内

◆12月13日（土） 14:00～16:00

尾崎織女さんを講師にお迎えして、お話をラトビアのサウリーテ（太陽）のオーナメントを作ります。

※詳細は同封のチラシをご覧ください、会員の皆様のご参加をお待ちしています♪

ボランティア募集中

友の会では、友の会企画の活動補助や会報発送作業等のボランティアを募集しています。

興味のある方は、友の会事務局までお問い合わせください。

ミュージアムショップ

12月からクリスマスプレゼント用にお得なセット販売を予定しています。

姫路科学館 HP



館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和7年11月

夏日がいつまで続くのか不安でしたが、窓から見える紅葉も赤く色づき始め、やっと秋らしさを感じる今日この頃となりました。ところで、令和7年度9月末現在の友の会会員の利用状況を見ましたら、常設展示で一人当たり2.2回、プラネタリウムでは一人当たり1回未満であるのが分かりました。特にプラネタリウムは3回まで無料なので、会員の特典を大いに利用して頂きたいと思いますので、ぜひお越しください。

10月に初代姫路科学館長の葉原昭二さんがご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

花の歳時記 ツワブキ（キク科）

本州（太平洋側では福島県以南、日本海側では石川県から西地域）、四国、九州の海岸沿い（岩場、崖上、丘陵地、林の日陰）に自生する常緑多年草です。秋から初冬（10月～1月）にかけて、葉の間から花茎を伸ばし、黄色い花を咲かせるので、冬を呼ぶ花とも言われます。観賞用に、庭園に植えられることもあります。また、仏教には、自灯明（自分を頼りに自分を灯火として歩く）という教えがあり、この花を日陰に明るく咲く自灯明の花として、寺院の境内にも植えられたりしています。

艶のある葉を持ったフキ「艶フキ」、厚い葉を持ったフキ「厚葉フキ」が訛ってこの名がつきました。



(友の会理事 古角孝之)